

市民記者が行く！広報サポーターレポート

汗の結晶 塩づくり体験― 塩田体験館「吉良饗庭塩の里」



広報サポーター
成瀬隆比古さん(若松町)



①



②



③



④



⑤

猛暑日となった夏休みみの1日、4月に開館したばかりの西尾市塩田体験館「吉良饗庭塩の里」の「塩づくり体験」に参加してきました。この日は岡崎市のポリースカウトの子どもたちが来ていました。弁当持参の1日コ

① 塩田に砂をまく
② 海水をまいて乾燥させる
保存会の方の指導で作業をするのですが、どの作業もちよつとしたこつがあり、子どもたちは汗をいっばいかきながら奮闘していました。

③ 乾燥した砂を集める
④ 海水をかけて、濃い海水「かん水」をとる
午後の作業は結構な力仕事で大変でしたが、子どもたちは笑顔で取り組んでいました。かん水が出てきたときは歓声が上がりました。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

⑤ かん水を煮詰める
最後は、自分たちの作った塩をお土産にもりました。どの子からも「楽しかった」の声がかれました。保存会の牧さん・加藤さん、館の加藤さん・堂園さんとのふれあいも魅力です。本当にお薦めの体験です。次は孫と一緒に参加するつもりです。

ここまでは午前中の作業です。午後まで砂が乾くの待ちます。待ち時間に、保存会の方が当時の塩づくりの様子をお話してくださいました。
小学生のころ、実際にこの塩づくりを手伝うことが日課だったという保存会の牧さんのお話は、とても興味深く、子どもたちも聞き入っていました。
冷房の効いた休憩室で昼食を取り、いよいよ午後の作業です。

⑤ かん水を煮詰める
みんなが集めたかん水を煮詰めていくと、きれいな白い塩が次々と出てきます。文字通り！汗の結晶です。またまた歓声が上がりました。
最後に、自分たちの作った塩をお土産にもりました。どの子からも「楽しかった」の声がかれました。保存会の牧さん・加藤さん、館の加藤さん・堂園さんとのふれあいも魅力です。本当にお薦めの体験です。次は孫と一緒に参加するつもりです。